

## 「鳴門市地域公共交通計画」についての意見募集に対する結果公表

### 1 募集結果

募集期間	令和4年12月27日(火) ~ 令和5年1月31日(火)
意見等提出者数	3人
提出件数 (提出方法内訳)	9件 (直接持参2通、郵便通、FAX通、Eメール2通、その他通)
意見等の反映状況	A 意見等を計画等に反映するもの・・・・・・・・・・ 0件
	B 意見等が既に反映されているもの・・・・・・・・・・ 6件
	C 意見等を今後の参考とするもの・・・・・・・・・・ 3件
	D 意見等を反映する見込みのないもの・・・・・・・・・・ 0件

### 2 意見等の分類

項 目	件 数
計画全体	0件
第1章 はじめに	0件
第2章 前回計画の検証	0件
第3章 鳴門市の概況	0件
第4章 鳴門市の公共交通の現状	0件
第5章 公共交通利用の実態・意向の把握	0件
第6章 上位・関連計画の概要	0件
第7章 公共交通に関する課題	0件
第8章 基本方針	0件
第9章 実施プログラム	9件
第10章 エリア別の重点事業	0件
第11章 評価指標・目標値	0件

## 3 意見等と市の考え方

## 第9章実施プログラムに関する意見等と市の考え

No	意見等の概要	市の考え	反映
1	乗降調査を行い、ダイヤやバスの大きさが適切であるかを検討してほしい	今回の計画策定にあたり実施したアンケート調査や乗降調査の結果を基に、今後ダイヤ改正等の利用者の方の利便性が向上する取組を行っていきたいと考えております。	B
2	JR 鳴門線の利便性向上について <ul style="list-style-type: none"> <li>・上下分離方式を導入</li> <li>・「しこくスマートえきちゃん」による利用者増加</li> <li>・各駅に無人産直市の設置</li> <li>・運行本数の増便</li> <li>・自動運転技術の導入</li> </ul>	JR 鳴門線は、市にとって必要不可欠な重要な公共交通の一つとして認識しており、令和4年度には、「JR 鳴門線に関する意見交換会」を開催するなど JR 鳴門線の存続に向けて機運醸成を図っています。今後もこのような取り組みを継続的に実施し、JRや市だけでなく、利用者の方や地域住民の方と協働することで、JR鳴門線の利便性向上等の施策を検討して参りたいと考えておりますので、今回いただきましたご意見につきましては今後の参考とさせていただきます。	C
3	市民税に「地方公共交通税」を導入する	本計画では、評価指標に掲げているとおり、運賃収入の減少を抑え、公的資金投入額との収支率を「現状値以上」とすることを目標にしています。まずは、運賃収入の減少を抑えるため、様々な利用促進事業に取り組んでまいりたいと考えておりますので、今回いただきましたご意見につきましては、今後の参考とさせていただきます。	C
4	乗り継ぎ、目的地での滞在時間を考慮したダイヤへ改正 (鳴門市ふれあい健康館、鳴門公園)	本計画策定にあたり実施したアンケート調査等におきましても同様のご意見をいただいております。今後、本計画に基づく「路線の効率的な運行に向けた再編」を実施していく中で、利用者の利便性が向上するダイヤ改正等に努めて参ります。	B

5	鳴門大麻線の増便	鳴門大麻線も含めた市内の全てのバス路線について、今後、本計画に基づく「路線の効率的な運行に向けた再編」を検討していきたいと考えておりますので、今回いただきましたご意見につきましては、今後の参考とさせていただきます。	C
6	市内公共交通への自動運転技術や I T・D X 技術等の導入について	全国各地で実証実験が行われている自動運転等の新たな移動手段について調査研究し、導入可能性について検討していきたいと考えております。	B
7	現状の公共交通機関の利便性を効率的に改善する	バスとバスやバスと J R が並行、重複している区間の解消をはじめ、既存路線の効率的な運行に向けた再編や新たな路線の開設を検討し、公共交通機関の利便性改善に効率的に取り組んで参ります。	B
8	池谷駅等発着の地域循環バスの新設	既存路線の効率的な運行に向けた再編や新たな路線の開設を検討していく中で、今回いただきましたご意見も含めて、利用者にとって使いやすい公共交通の実現に向けて取り組んで参ります。	B
9	駐輪場所の整備	交通結節点においてパークアンドライドを推進していくとともに、駐輪場や駐車場を整備し、公共交通機関への乗り換えがしやすい環境整備に取り組んで参ります。	B